

患者氏名 _____ 様

鹿児島大学病院

感染対策に関する説明とお願い

病院には抵抗力の落ちた方が多く、病原体拡大防止が必要です。今回、以下にチェックした感染症発症（疑いを含む）または病原体検出のため、追加の感染予防策が必要です。ご協力お願いいたします。

接触予防策

- 感染性胃腸炎 CD 下痢症 疥癬 流行性角結膜炎 MRSA
 ESBL 産生菌 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE） 耐性緑膿菌
 耐性アシネトバクター その他 _____

- ・患者さん自身や患者さんの周囲環境・器具から、人の手指を介し伝播がおこります。
- ・医療従事者はエプロン（長袖ガウン）や手袋を装着します。聴診器や血圧計などの個別化、使用器具や環境の消毒、個室移動をお願いすることもあります。
- ・お手洗い後の石鹸手洗いや、部屋の出入りの際は手のアルコール消毒をお願いします。

飛沫予防策

- インフルエンザ 流行性耳下腺炎 百日咳 風疹 その他 _____

- ・咳やくしゃみの時に出る飛沫（ひまつ）により、周囲 1～2m の範囲の方に感染します。
- ・医療従事者はマスクを着用します。個室移動や、ベッド周囲のカーテンを閉めることをお願いすることもあります。（必要に応じフェイスシールド・エプロン（長袖ガウン）・手袋も装着します）
- ・ご自身が病室外へ出るときはマスク着用が必要です。面会や付添の方もマスク着用が必要です。
- ・部屋の出入りの際は手のアルコール消毒をお願いします。

空気予防策

- 結核 麻疹 水痘 免疫不全者の带状疱疹 その他 _____

- ・空気中をただよう小さな微粒子を吸い込むことにより感染がおこるため、陰圧・換気設備のある専用個室に移動をお願いします。
- ・結核（疑われる場合を含む）患者さんと接する医療従事者や付き添いの方は高性能マスク（N95 マスク）の着用が必要です。
- ・ご自身は、検査や処置以外では、原則として病室外へ出ることはできません。出る場合はサージカルマスクの着用が必要です。
- ・部屋の出入りの際は手のアルコール消毒をお願いします。

これらの感染予防策を医療従事者間で共有するため、病室前に必要な予防策を表示させていただきます。また、法令に基づく公衆衛生上の必要性から保健所に情報提供をする場合がございます。

説明日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

説明者：所属 _____ 名前 _____